

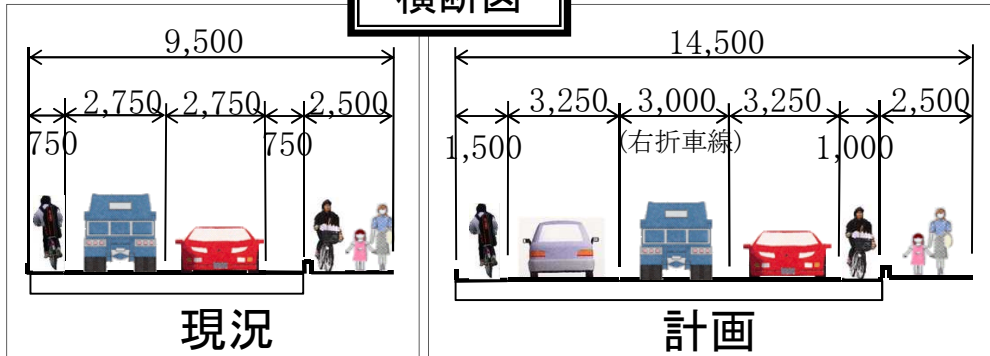
投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 小谷 和弘 (交通施設担当主幹 多田 孔充)	内線	4389 (4399)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
交通安全施設事業	一般国道178号 交差点改良事業	美方郡新温泉町芦屋	3.1億円	1.5億円	平成30年度	平成33年度
事業目的			事業内容			
<p>○安全かつ円滑な通行の確保</p> <p>当該交差点は、JR山陰本線の南側を併走する国道178号と町道（浜坂踏切）が交差する交通の要衝であり、交通量が多いにもかかわらず、国道178号には右左折車線が設置されていないため、朝夕の慢性的な渋滞の発生に加え、踏切内に進入しようとする車両の一時停止により、交差点内の交通が錯綜し、危険な状態となっており、早急な対策が求められている。</p> <p>このため、交差点改良を行い、自動車の安全かつ円滑な通行を確保し、渋滞の解消を図る。</p>			<p>交差点改良 延長：200m 幅員：6.5m+付加車線3.0m（歩道2.5m）</p> <p>【現況交通量】（H29実測） 自動車：4,259台/12h 自転車：180台/12h 歩行者：87人/12h</p> <p>【負担割合】 国：55% 県：45%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>① 当該交差点は、国道（約4,200台/12h）と町道（浜坂踏切）からなる交差点で、浜坂市街地に入出入りするために踏切を通過する車両が約3,600台/12hと多い。</p> <p>② 当該交差点は、右左折車両が原因で交通が停滞し、朝夕のピーク時には、渋滞長が200mに達し、渋滞が慢性化している。</p> <p>③ 踏切内に進入しようとする車両が支障となり、後続の直進車両が反対車線にはみ出して通行する等、交通が錯綜し、危険な状態である。</p> <p>④ 浜坂道路の開通（平成29年末）により、国道178号の交通量が増加し、当該交差点から市街地へ流入する観光バス、観光客等の増加が予想され、交通事故の危険性が高くなる。</p> <p>⑤ 過去5年の死傷事故件数は5件、うち歩行者・自転車の関係する事故は2件発生。</p>					
(2) 有効性 ・ 効率性 (執行環境状況)	<p>① 右左折車線の整備により、円滑な交差点処理が可能となり、渋滞解消とともに事故の減少が期待できる。</p> <p>② 幅広路肩の整備により、安全な自転車通行空間が確保される。</p> <p>③ 新温泉町、地元、浜坂中学校、浜坂高校から早期整備の要望がなされる等、事業執行環境が整っている。</p>					
(3) 環境適合性	<p>① 歩道舗装には、雨水が地中に浸透する透水性舗装を採用し、地下水涵養を図る。</p> <p>② 渋滞解消により、大気環境の改善に寄与する。</p>					
(4) 優先性	<p>① 慢性的な渋滞が発生しており、早期の整備が必要である。</p> <p>② 浜坂道路の開通により、交通量増加が予想され、早期の安全対策が必要である。</p>					

位置図



横断図



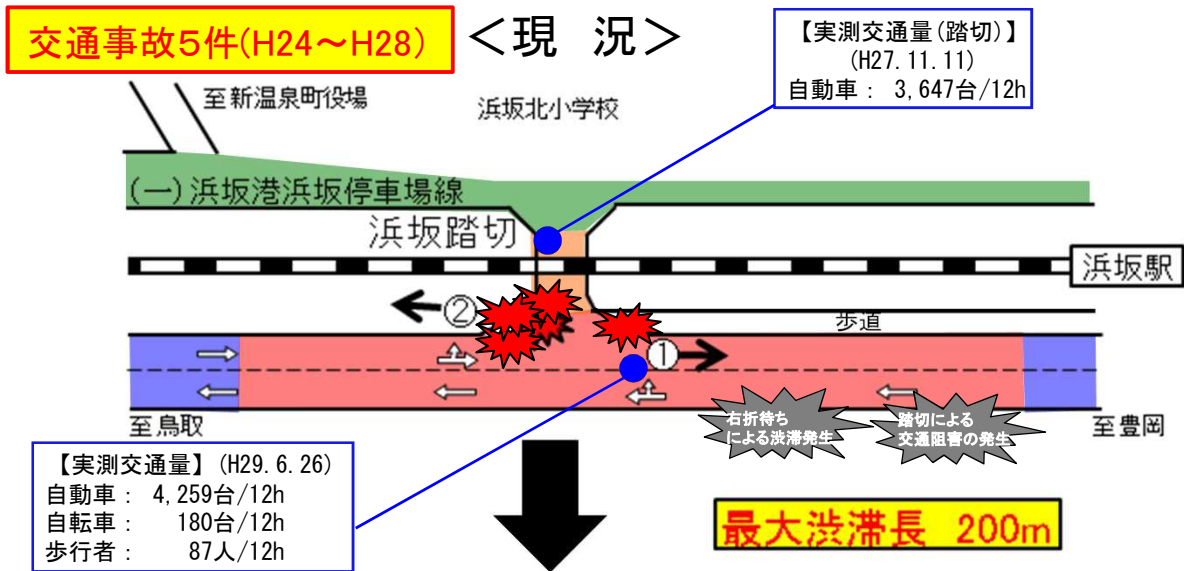
事業概要

事業概要：交差点改良
 所在地：新温泉町 芦屋
 延長：200m
 幅員：6.5m(11.5～14.5m)
 総事業費：3.1億円
 事業期間：H30～H33

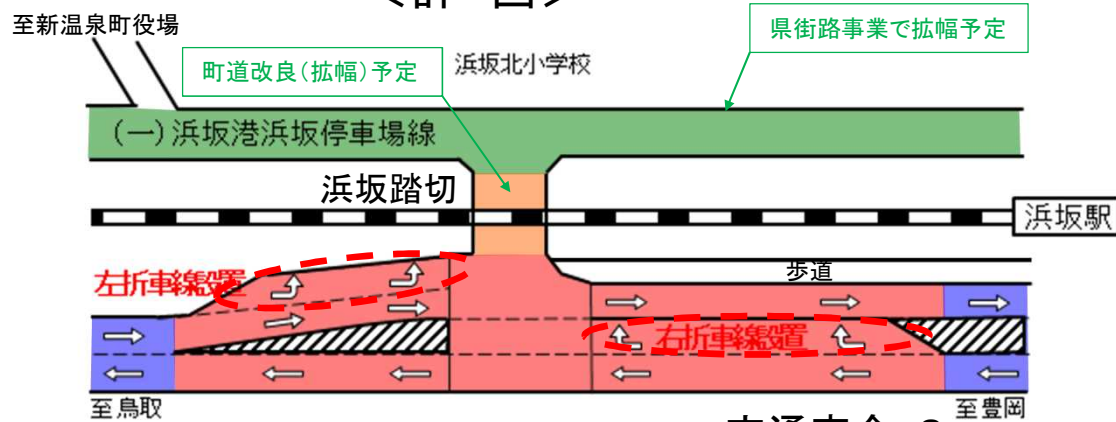
事業の必要性

- ①右折・左折車線の設置により、渋滞を解消
- ②踏切手前の右折・左折車線により、踏切への危険な進入を抑制
- ③交差点改良により、安全で円滑な交通を確保

平面図



<計画>



交通安全-3

現況写真

①右折待ちによる渋滞発生



②踏切による交通阻害の発生

